

切ってつくる

ウサギさん



①ねんどを好きな大きさに切ります。

②ねんどを横長にまるめます。



③両側にハサミで切りこみを入れます。



④切りこみのところを指で手と足の形にします。



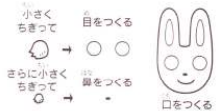
⑤頭の大きさにねんどを切ります。



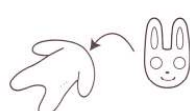
⑥⑤を横長にまるめ、片側を切って耳の形にします。

もくねんさんからのアドバイス

ハサミをつかうと切り口がさがさになるので、表面を指でこすって、なめらかにしましょう。



⑦目・鼻・口をつくります。



⑧体と顔をつけます。



⑨かわいたら、色をぬりま



きみだけに おしえる テクニック その5 大きい作品をつくる

大きい作品をつくる時は、新聞紙などをしんにして、ねんどをはりつけるとじょうずにできます。



ほってつくる

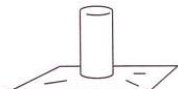
ハンコ



①ねんどを好きな大きさに切り、横長にまるめます。



②ほるところをたいらにします。



③たいらな面を下にして、かわかします。

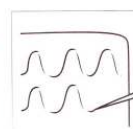


④さらにたいらにするために、紙ヤスリをかけます。

きみだけに おしえる テクニック その6 もようをつける



かわく前のねんどを、指やつまようじなどでおしたり、ひっかいたりすると、もようをつけることができます。



もくねんさんからのアドバイス

彫刻刀をつかうときはケガをしないようにじゅうぶん気をつけて、ねんどをしっかりと固定してから、ほりはじめましょう。



⑤えんぴつやペンなどでもようをかきます。



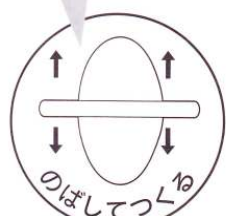
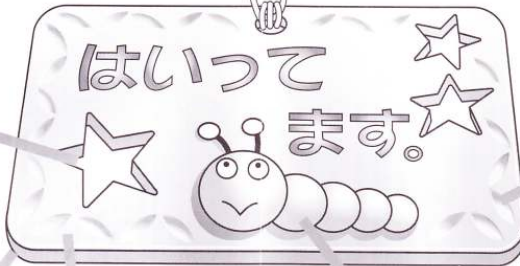
⑥ほります。



⑦外側に色をぬります。



5つのきほんテクニックをつかって ドアプレートをつくってみよう



きほんテクニックをあわせてつかえば、いろいろな作品が作れるようになります。テクニックをマスターして、いろいろな作品にチャレンジしてみましょう。

保護者の方へ

もくねんさんで遊ぶ時の注意

- 万一名でも無害ですが、食べ物ではありませんので、口に入れないようにしてください。
- 鼻や口、目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 高温や直射日光をさけて保存してください。
- 刃物や工具を使用する時は、けがをしないように十分に注意してください。
- 小さなお子さんが使用する際は、保護者が監督してください。

平成15年度全国地場産業優秀製品 優秀賞受賞 (日本商工会議所会頭賞)

もくねんさんの特長

- 鉛筆を作る時に出るおがくすが原料、環境や人体に有害なものは一切使っておりません。
- 軽くと楽扱きのような風合いが出ますが、非常に軽く、また丈夫です。大きなモノキュメントも作れます。
- 煮えるコミとして処分でき、地中に埋めても自然に分解されます。

北星鉛筆株式会社
〒124-0011
東京都葛飾区四つ木 1-23-11
TEL 03-3693-0777
FAX 03-3697-5827
<http://www.kitaboshi.co.jp>

おがくずねんど
もくねんさん
環境にやさしい木のリサイクル

北星鉛筆株式会社